



旅東北NEWS

VOL.016
2020年1月15日発行
(一社)東北観光推進機構

ILT Mカンヌに出展し欧米の富裕層旅行市場に東北の魅力をPRしました (2019年12月2日~5日)

12月2日から5日にかけて、世界の富裕層旅行業界で最大規模の商談会である「ILT Mカンヌ2019」に出展し、主に欧米市場において富裕層を顧客とする旅行会社等との商談を行いました。

カンヌ映画祭の会場である「パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ」を会場に、出展者とバイヤーあわせて3,700社以上が参加し70,000件以上の商談が行われました。東北はJNTOの日本ブース(30団体)に出展しました。

商談は、事前のアポイントメントに加え飛び込みも行い、海外の旅行会社等約30社のほか、国内から参加した旅行会社(DMC)等約10社を含め、計40社程度と商談を実施しました。

商談を通じて、訪日旅行の人気が欧米でも高まっていることや2020オリンピックを契機に訪日意欲のさらなる向上が期待できること、新たな目的地を探している方が多いことなどを改めて確認することができました。

今年度製作している7言語版の富裕層旅行向けパンフレット等を活用しながら、引き続き、東北への富裕層旅行の商品造成の促進を図ってまいります。



【商談の様子】



【会場の様子】

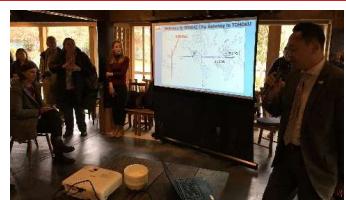
米国最大規模の旅行記者協会による東北取材が行われました (2019年12月5日~11日)

12月5日から11日にかけて、米州最大規模の旅行記者協会である全米旅行記者協会(SATW: Society of American Travel Writer)フリーランス部会に加盟するフリージャーナリスト約40名が東北各県で取材を行いました。

SATWは、実績のある記者、フォトグラファー、エディター、プロデューサー等のみが所属を許されており、発信力の高い記者が多数所属しています。フリーランス部会では、毎年、記事執筆のための取材旅行と会議「Freelance Council Meeting」を各地で開催しており、JNTOの誘致により、東北が東アジアにおいて初めて開催地に選ばれました。

東観推では、取材初日の5日に、イントロダクションとして東北観光に関するプレゼンテーションやオープニングセレモニーでの歓迎スピーチなどを実施しました。

「Lonely Planet」や「National Geographic」が2020年に訪れるべき旅先として東北を選出するなど、欧米市場における東北の存在感が高まっていることを踏まえ、今後もあらゆる機会を捉えて、東北の露出を図ってまいります。



【ライターへのプレゼンテーション】



【オープニングセレモニー】

香港メディアを招請しました (2019年12月15日~21日)

12月15日から21日の7日間にわたり、香港のメディア(U MAGAZINE)を招請し、北東北及び福島県の主要な観光スポット等を取材していただきました。

今回の招請は5月末の招請に引き続き、香港の20代から30代の女性が求める「癒し」や「写真映え」をテーマに、カフェや温泉旅館、SNS映えするスポットを巡っていただきました。

香港マーケットにおいては、福島県に対する未だ根強い風評被害があり、前回は福島県への訪問が叶いませんでしたが、関係各位の努力により、今回は福島県での取材が実現しました。

福島県内では、土湯温泉や大内宿などの観光スポットを取材していただき、大内宿では、「日本の原風景がとても写真映えする。雪景色もとても素敵。」という声を聞くことが出来ました。今回の取材を通して福島県の魅力を発信していただきました。

来年度は、今年度実施したメディア招請を踏まえ、さらにどのようなコンテンツが香港マーケットにおいて関心が高いのか検討し、更なる誘客促進を図ってまいります。



【大内宿での取材】

シンガポールからオンラインメディアを招請しました (2019年12月16日～19日)

12月16日から19日にかけて、太平洋沿岸地域の現在の姿の情報を発信し、風評が根強く残る市場における当該地域への懸念を払拭することを目的として、シンガポールより現地で最も読者の多い英字新聞「The Straits Times」電子版の記者1名と、現地人気旅行情報サイト2社の記者を招請し、宮城県沿岸地域（仙台市、松島町、塩竈市）及び福島県会津地域を取材していただきました。

今回の取材では、復興状況の発信に加えて、「東北各地に根差した武家文化」をテーマとして取材を行い、一言に侍の文化といつても、その地域の特色や領主の家風の影響を受けて多様な特徴があることを紹介したところ、大変興味深く聞き入っていました。また、それぞれの地域を代表する食材にも高い関心を示され、特に全国新酒鑑評会で金賞受賞数7年連続日本一となっている福島の日本酒について熱心に取材を行う様子が見られました。

今後も太平洋沿岸地域の継続的な情報発信を行うことにより、当該地域の風評払拭と入込拡大を図ってまいります。



【鹽竈神社】



【鶴ヶ城】

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成検討会に参加しています

東観推では、東北運輸局と連携して訪日グローバルキャンペーン事業を行っています。この事業は、訪日訪日外国人旅行者に対して旅マエ・旅ナカにおける消費意欲を喚起するため、東北広域において消費増大のポテンシャルが大きく、各地域の特徴を最大化できる統一テーマによる着地型体験コンテンツの造成を目的としています。

【着地型体験コンテンツを造成する統一テーマ】

1. ナイトタイム・モーニングタイムエコノミー : 7地域
2. 体験型農泊・民泊 : 3地域
3. 参加型お祭り : 4地域

地域DMO、地域事業者、外国人専門家と連携しながらコンテンツ造成検討会を複数回開催し、地域の特徴ある観光素材を体験型コンテンツ化し、外国人専門家によるモニターツアーを通じて旅行商品を造成しています。

造成した着地型体験コンテンツは、東観推HP内に構築した着地型コンテンツプラットフォーム内に一元的に格納し、5言語で検索および一部コンテンツについてはOTAを通じた予約・決済まで一気通貫した仕組みを構築しています。

【造成している着地型体験コンテンツの一例】

- ・世界で最も早い朝日を浄土ヶ浜で伝統太鼓の響きで呼ぶ
- ・早朝の十和田湖でコーヒーと朝食で癒しを



【浄土ヶ浜で伝統太鼓】



【十和田湖で癒しの朝食】

「日本観光振興協会×Tripadvisorニュースレター」に東北地方の口コミ数増加に向けた取組と、口コミ増加状況が紹介されました（2019年12月24日）

12月24日付「日本観光振興協会×Tripadvisorニュースレター」において、東北地方がトリップアドバイザー上の口コミ数増加に向けて行っている取組や東北域内で順調に口コミ数が増加していることが紹介されました。

東北域内のさらなる口コミ数増加に向け、今後もセミナー等で観光関係事業者の気運醸成を図ってまいります。
<以下引用>

2019年7月から9月までの第3四半期にトリップアドバイザーのサイトに投稿された日本に関する口コミ傾向を地方区分でみると、口コミ数については、前四半期とほぼ横這いの結果となりました。

しかしながら、関東、中部、近畿、四国地方では口コミが減少する県が多くみられ、逆に北海道、東北、中国地方などの県では口コミが増える結果となり、中でも東北については6県中5県で口コミの増加がみられました。

また、口コミ数を10%以上伸ばした県のトップ3は、青森県、島根県、山形県となりました。

（中略）

2019年8月～9月にかけて青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、一般社団法人 東北観光推進機構主催の「口コミサイト活用セミナー」が開催されました。

【ニュースレター冒頭】

第3四半期、東北地方については口コミが増加傾向に！

No.7 □ 2019年12月24日

JTAA & TripAdvisorが発表する、DMOニュースレターの第7弾をお届けします。今回は、2019年第3四半期でみた各都道府県別の口コミ状況や、トリップアドバイザーが初めて発表した口コミの透明性に関するレポート、口コミの重要性に関する最新調査報告などをお届けします。ぜひ、皆さまの地域における観光振興のヒントとしてご覧ください。

●詳細はこちらから https://tg.tripadvisor.jp/Jtta_ta_dmonews/07/

口コミサイト活用サブセミナーを開催しました (白石市：12月9日、秋保温泉：12月16日、能代市：12月19日)

東北観光復興交付金「口コミ投稿を活用した誘客促進事業」の一環で、白石市、秋保温泉、能代市の3ヶ所で「口コミサイト活用サブセミナー」を開催しました。

サブセミナーは口コミ投稿の収集やトリップアドバイザーの活用に関心のある地域からの要望を受けて行うものです。第1部では、東北観光推進機構より、トリップアドバイザーの概要や活用方法をご紹介しました。第2部ではじゃらんリサーチセンターより口コミを誘客の武器にするための上手な付き合い方や、地域のトリップアドバイザーの活用状況についてご説明しました。



【秋保温泉セミナーの様子】

【第1部】

テーマ：今日からできる！世界へ届く！！トリップアドバイザー活用法

【第2部】

テーマ：口コミを武器にする！今すぐ取り組む口コミ対応！

第6回フェニックス塾を開催しました（2019年12月20日）

12月20日に、第6回となる「フェニックス塾」を新潟市にて開催し、58名（塾生24名、一般聴講者34名）が参加しました。

第一部セミナーでは、UDS株式会社代表取締役社長の中川敬文氏より、新しい客層であるインバウンド旅行者をお迎えする上で、これまで奨励されていたおもてなしの手法をアップデートすることの大切さや他産業等と連携して地域という「面」でおもてなしすることの重要性に関するお話をいただきました。また、第二部ワークショップでは、「東北に更に多くのインバウンドを誘致するには」をテーマに、グループごとに決めたテーマに沿って「課題への対応策の検討」についてディスカッションを行いました。



【第一部】セミナー

講 師：中川 敬文氏

（UDS株式会社 代表取締役社長）

テーマ：「インバウンド時代の創造的なおもてなし」

【第二部】ワークショップ

第1回フェニックス塾第一期生～三期生勉強会を開催しました (2019年12月4日)

12月4日に、第1回フェニックス塾第一期生～三期生合同勉強会を仙台市にて開催し、15名が参加しました。

第一部セミナーでは、一般社団法人気仙沼地域戦略理事の森成人氏より、『「つながり」人口の最大化を狙った地域経営戦略』と題して、地域全体が観光戦略について共通認識をもち、地域経営を行っていくことの重要性に関するお話をいただきました。続く第二部講話では、東北DCを契機にした東北の盛り上げを促進するために、地域の魅力を継続して掘り起こし磨き上げて発信する体制を構築する必要性について東観推の古澤東北DC担当部長による講話を実施しました。



【森成人氏セミナー】

【ワークショップ】

秋田県警と「訪日外国人等の安全・安心確保への相互協力に関する覚書」協定を締結しました（2019年12月6日）

この度秋田県警察本部と、「訪日外国人等の安全・安心確保への相互協力に関する覚書」を締結しました。秋田県警では、来年のオリンピック・パラリンピックなど大規模国際イベントを控え、今後多くの外国人が秋田を訪れる事を想定し、来県された外国人が交番等を訪れた際に、問題を迅速に把握して外国人の不安感を軽減することを目的として、東観推が提供する「多言語電話通訳サービス」に秋田県警察の169施設を登録いただきました。

今後は、サービスの向上を図り、東北各県（4県登録済）に広がることを目指します。



【締結式様子】

今後開催予定のセミナー

TOHOKUおもてなしフォーラムin仙台

【日時】2020年2月19日（水）

【会場】TKPガーデンシティPREMIUM仙台東口

【内容】

＜基調講演＞

「外国人観光客に日本流のおもてなしを」

（講師：澤の屋旅館 館主 澤 功氏）

＜Grow with Google＞

「今すぐはじめるデジタルインバウンド講座」

（講師：Grow with Google講師 市原 誠之氏）

＜ホットトピックス＞

「インバウンド対応に向けた食のバリアフリー：

ベジタリアン、ビーガン、ハラールなど食の制限」

【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（無料）

☆詳細は東観推にお問い合わせください。

第7回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2020年1月31日（金）

【会場】アイーナいわて県民情報交流センター

【内容】セミナー

「ユーザー発信情報の活用を踏まえた

デジタルマーケティング」

【講師】牧野 友衛氏

（トリップアドバイザー株式会社代表取締役）

【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（無料）

<https://www.phoenix-school.com/entry07/index.html>

第2回フェニックス塾勉強会

【日時】2020年2月19日（水）

【会場】TKPガーデンシティPREMIUM仙台東口

【対象】フェニックス塾第一期～三期生

今後出展予定の海外旅行博、開催予定の海外イベント

・【タイ】「国際旅行博第26回TITF」

2020年1月16日（木）～19日（日）

・【アメリカ】「Los Angeles travel & adventure show」

2020年2月15日（土）～16日（日）

訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるという外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が**日本全体の1%程度**と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします

●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアルを作成しました。これを見れば、オーナー登録の方法、

困ったときどうすればいいか、どうやって口コミに返信すればよいかがわかります。ぜひご活用ください。

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf



東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇒英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。

申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.016 2020年1月15日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpp@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！